

「UR都市機構フォトコンテスト 2024」結果発表

695 点の応募作品から受賞作品 24 点を決定！

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）は、令和6年3月22日から7月29日まで「くらしがある、笑顔がある。」をテーマに、復興部門は東日本大震災からの復興支援の一環として東北の「今」を伝える写真を、団地部門は日本全国のUR賃貸住宅団地に住まう人々の「今」を伝える写真を、皆様から募集し「UR都市機構フォトコンテスト2024」を開催しました。

郵送、メール、Instagramで作品を募集し、全国から695点（復興255点、団地440点）と多数のご応募をいただきました。その中から、審査員及びUR都市機構職員等による審査により、今般、復興、団地各部門大賞1作品のほか、優秀賞3作品と入賞8作品（キッズ・ジュニア賞を含む）を決定しましたので発表します（詳細は別紙）。

復興部門では東北地方の人々の力強さを感じる写真、団地部門では人々の生活の息遣いや季節の移り変わりを感ぜられる写真が多く寄せられるという応募作品の傾向が見られました。

大賞以下、受賞作品は当機構ホームページ（<https://www.ur-net.go.jp/aboutus/action/photocontest/2024/result/>）で紹介いたします。

【大賞受賞作品】

復興部門	団地部門
	
『天空の楽園』 （宮城県刈田郡蔵王町）	『ともだちとの思い出』 ミラリオ大師河原（神奈川県川崎市）

【受賞作品数】

大賞	2 作品（各部門 1 作品）
優秀賞	6 作品（各部門 3 作品）
入賞（キッズ・ジュニア賞を含む）	16 作品（各部門 8 作品）

【作品メッセージと講評】

復興部門 大賞 『天空の樂園』（秋葉 宏幸さん）

メッセージ

「高台にあるカモミール畑。一面に咲き誇るカモミール畑が美しく、また後ろに広がる山々や農村風景が見事。子供も景色が気に入ったようで母にたかいたかいをされ大満足。素敵な思い出になってくれたようです！」

講評

「震災時、人的被害はなかったものの、震度6強が襲った蔵王町ですが、現在の風景はカモミール畑に象徴されるような穏やか風景が広がります。インスタ映えしそうなブランコではなく、より高い位置から奥様とお子さんを雄大な風景に溶け込ませ、素朴な設定として捉えたところが秀逸です。さらに遠景の蔵王連峰も際立たせた色合いも効果的。（大西みつぐ）」

団地部門 大賞 『ともだちとの思い出』（カミヤさん）

メッセージ

「同じ幼稚園に通う団地の友達。そのうちの一人が5月に引っ越してしまうので中庭でお別れ会をしていました。夕方になるまで遊び、同じ方向に歩いていく姿は離れてしまっても「また会えるよ」という気持ちにさせてくれました。この団地に住んでいたからできた友達でとてもいい思い出です。」

講評

「満場一致の大賞作品。斜陽の中を歩く小さな背中が映画のワンシーンを切り取ったかのようで物語を感じる一枚です。光を受けてなびく髪に風を感じ、視線の先にみえる木々の花には別れと出会いの季節でもある春を予感します。いつか見た幼少期の記憶とも重なるような懐かしい気持ちになり、ノスタルジックな世界観と「離れてしまっても、また会える」という希望のような願いに強く共感できる作品です。（6151）」

受賞作品の詳細はUR都市機構ホームページまたは Instagram 公式アカウントからご確認ください。

<https://www.ur-net.go.jp/aboutus/action/photocontest/2024/result/>

https://www.instagram.com/ur_toshikiko

お問い合わせは下記へお願いします。

本社 広報室 報道担当 (電話) 045-650-0887

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・暮らしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



「UR都市機構フォトコンテスト2024」概要

名称	UR都市機構フォトコンテスト2024		
主催	独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）		
後援	国土交通省、復興庁		
作品イメージ	<p>下記イメージを想定した作品を募集します。</p> <p>（復興）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北の復興を感じる場面 ・東北での生活がうかがえる場面 <p>（団地）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四季折々のUR賃貸住宅団地の風景 ・UR賃貸住宅団地に生活する人々の息づかいが感じられる場面 ・UR賃貸住宅団地と周辺環境が形づく風景 		
応募作品数	695点（復興225点 団地440点）（プロの応募は不可）		
審査員（敬称略）	池邊 このみ（ランドスケーププランナー）／大西 みつぐ（写真家） ／西田 司（建築家）／6151（写真家・インフルエンサー） ※敬称略		
選定方法	審査員及びUR都市機構職員等による審査により決定		
受賞作品	<p>《大賞》 2点（各部門1点）</p>		
	 <p>『天空の樂園』（秋葉 宏幸さん）</p>	 <p>『ともだちとの思い出』（カミヤさん）</p>	
	<p>《優秀賞》 6点（各部門3点）</p>		
	 <p>『まめで達人な村を』 （福島県東白川郡鮫川村）</p>	 <p>『reborn』 （宮城県石巻市）</p>	 <p>『90歳差の共演』 （宮城県石巻市）</p>
	 <p>『夕暮の初雪』 （コンフォールさがみ南）</p>	 <p>『団地を彩る紅葉』 （みさと団地）</p>	 <p>『節目の春』 （ひばりが丘パークヒルズ）</p>
	<p>その他、入賞（キッズ・ジュニア賞を含む16点）を選定</p>		
スケジュール	令和6年3月22日～令和6年5月31日	作品募集期間	
ホームページ	https://www.ur-net.go.jp/aboutus/action/photocontest/2024		